

自然景観エリア

[景観形成の基本方針]

新発田市の原風景である田園景観、二王子岳等の山岳景観、加治川等の河川景観、そして、藤塚浜の海岸景観に代表される自然景観と調和した家なみを保全する。

エリアのイメージ



建物イメージ

高 さ

- ・建築物や工作物は、遠景の山々など周辺の自然景観を阻害しない高さとなるようにしましょう。
- ・特に、海岸周辺では、松並木のスカイラインを阻害せず、海辺らしさを感じさせるようにしましょう。

形態・意匠

田園周辺

- ・遠景の山なみを意識し、外壁に自然素材を使用するなど、自然景観との調和を図りましょう。また、凹凸が多いなど特異な形態は避け、全体としてまとまりのある形態となるようにしましょう。
- ・出来る限り大きな壁面は避け、圧迫感を軽減させるようにしましょう。
- ・建築物の屋根、外壁、開口部等は、手の込んだ複雑な意匠は避け、威圧感、圧迫感及び違和感を与えないようにしましょう。

河川周辺

- ・対岸からの眺望に配慮し、できる限り大きな壁面は避け、開放感と広がりのある景観の形成に努めましょう。



海岸周辺

- ・松林や松並木の見え方を考慮し、松林が際立ち、海辺らしさを感じられるようにしましょう。



土地の区画形質の変更(開発行為を含む)

- ・土地の区画形質の変更(開発行為を含む)を行う場合は、自然景観との調和を図りましょう。
- ・敷地外縁の緑化に努め、造成等に関わる切土及び盛土の量は、できるだけ少なくしましょう。
- ・のり面については、緑化を図るなど周辺景観への影響に気を付けましょう。
- ・擁壁等の構造物は、自然景観と調和を図るため、必要最小限にし、化粧型枠等による仕上げや地被類、低木及び中高木の植栽などの緑化措置を図るなど、周辺景観への影響に気を付けましょう。

木竹の植栽又は伐採

- 木竹の植栽又は伐採を行う場合は、自然景観などの周辺景観への影響に気を付けましょう。
- 敷地内の緑化に努め、木竹の伐採を行う場合は、樹木の樹種、樹齢、樹形等を調査し、木竹の伐採を検討しましょう。

屋外における物品の集積・貯蔵

- 屋外における物品の集積・貯蔵は、周辺景観を阻害しないようにしましょう。
- 敷地外縁などの植栽等の修景措置や集積・貯蔵箇所等に気を付けましょう。

